

# 水土里ネットだより

letter from akita



## 21世紀土地改良区創造運動実践報告

- 特集1 21世紀創造運動大賞(水土里ネット仙北平野)
- 特集2 秋田県21創造運動表彰県知事賞(水土里ネット由利本荘市)
- 特集3 水土里キッズのわくわく探訪inよこて
- 特集4 2017語り部交流会inあきた(羽後町)

## 第18回美しく豊かな農村づくり写真コンクール

入選 「おいしいお米になあ〜れ!!」



羽後町みわこども園 古関 陽花子さん(5歳)

表紙を飾る作品は「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2017の入賞作品です!



入選 「斎藤さんのトマト」



湯沢市立湯沢東小学校 高根 光さん(6年)

水土里ネット秋田会長賞 「わっしょい まつり!」



羽後町立三輪小学校 古関 真穂さん(3年)

水土里ネット秋田 (秋田県土地改良事業団体連合会)

# 21世紀土地改良区創造運動とは？

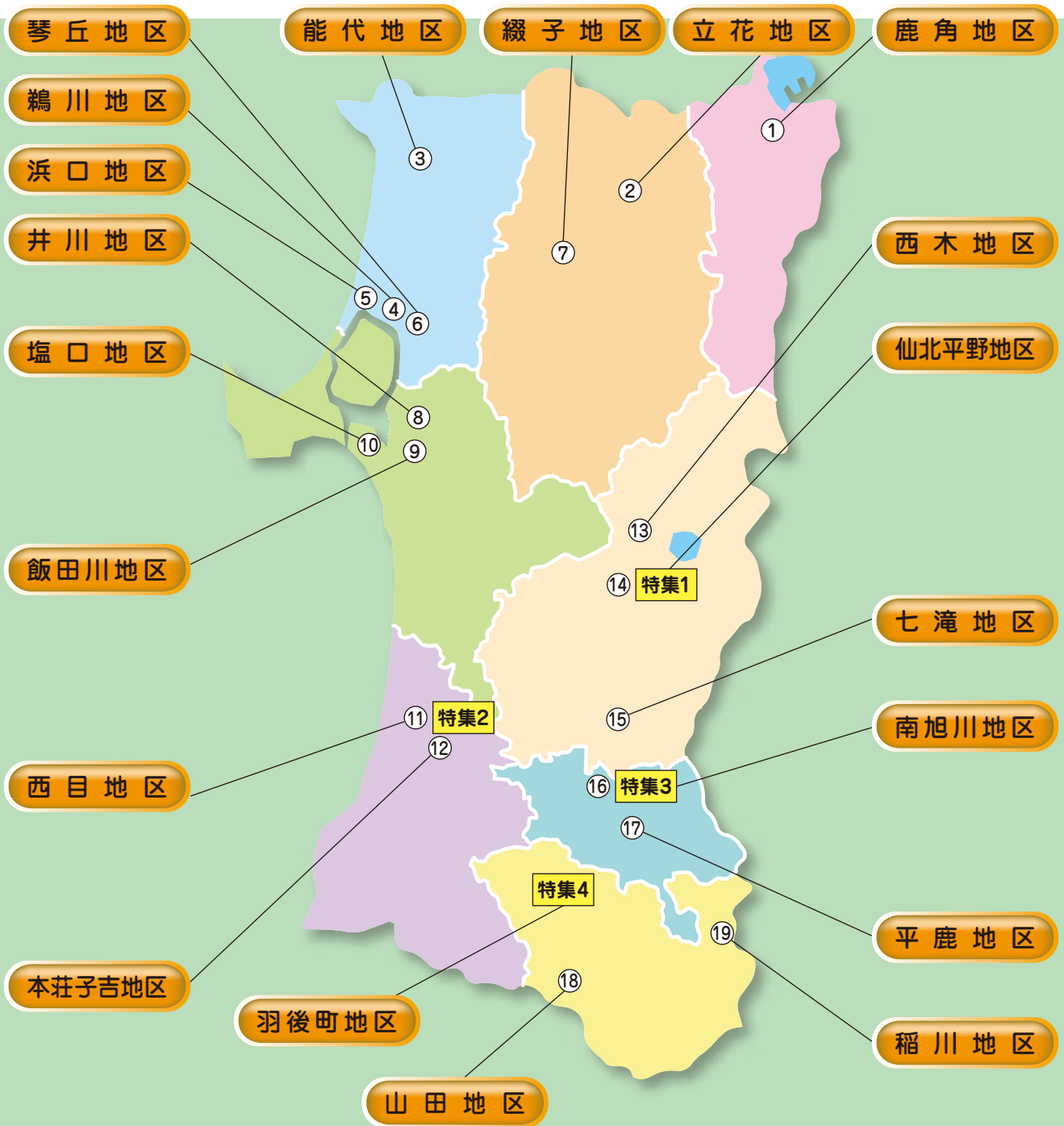
平成13年に始まった21世紀土地改良区創造運動は、全国各地で多用な取り組みが展開されており、「水土里ネット」の愛称普及にも貢献しております。この運動は「水土里ネットから地域へ」発信する外部運動であり、水土里ネット関係者の意欲の向上と意識改革を進め、県民に向けて水土里ネットの活動をPRする機会となっております。

## 平成29年度 活動状況

### ○運動実施地区

	地区名	関係機関	活動・イベント内容	ページ
特集1	仙北平野	水土里ネット仙北平野、 秋田県土地改良事業団体連合会職員会大曲仙北支部	水土里ネット施設学習会、水土里ネット森林学習会、水土里ネット水生生物調査、水土里のみちウォーキングin抱返り溪谷	3～6
特集2	西目	水土里ネット由利本荘市、 西目環境保全活動の会	農業体験(米づくり体験)	7～8
特集3	横手	秋田県南旭川水系土地改良区	水土里キッズのわくわく探訪inよこて	9～10
特集4	羽後町	秋田県土地改良事業団体連合会雄勝支部	2017語り部交流会inあきた	11～12
1	鹿角	水土里ネット秋田鹿角支部	田んぼアート	13
2	立花	大館市土地改良区	児童による農業体験学習	13
3	能代	秋田県能代地区土地改良区	水土里の実践活動	14
4	鶯川	水土里ネットみたね	豊穣の里ウォーキング兼施設見学会	14
5	浜口	水土里ネット浜口	水生生物調査及び土地改良施設見学会	15
6	琴丘	水土里ネット琴丘	農業施設見学会	15
7	綴子	北秋田市土地改良区	小学生農業体験学習	16
8	井川	井川町土地改良区	学習田農業体験活動	16
9	飯田川	水土里ネット飯田川	学習田農業体験活動	17
10	塩口	水土里ネット天王	水路用地のクリーンアップ	17
11	西目	水土里ネット由利本荘市、 西目環境保全活動の会	農業体験学習(米づくり体験学習)	18
12	本荘子吉	水土里ネット子吉	ふるさと環境教室	18
13	西木	仙北市西木土地改良区	施設見学会	19
14	仙北平野	水土里ネット仙北平野	社会科フィールドワーク見学	19
15	七滝	水土里ネット仙北平野	水生生物の自然観察会	20
16	南旭川	水土里ネット南旭川	花の植栽活動	20
17	平鹿	秋田県雄物川筋土地改良区	植栽活動	21
18	山田	水土里ネット山田五ヶ村	維持管理巡回コンテスト	21
19	稲川	水土里ネット稲川	農作業体験・標語コンクール	22
	計	23地区		

# 平成29年度 活動地区位置図

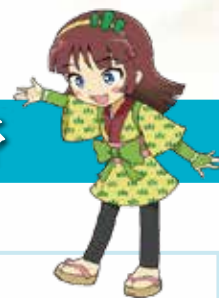


## 秋田県21世紀土地改良区創造運動表彰

地区名	実施主体	賞	所在地
仙北平野	仙北平野土地改良区	21創造運動大賞	大仙市 <b>特集1</b>
西目	由利本荘市土地改良区	県知事賞	由利本荘市 <b>特集2</b>
鶺川	三種町土地改良区	奨励賞	三種町
塩口	潟上市天王土地改良区	奨励賞	潟上市

# 平成29年度 21創造運動大賞

## 「水の守人マイスター」水土里ネット仙北平野



- 水土里ネット名:水土里ネット仙北平野
- 組合員数:5,411名
- 役職員数:役員20名、職員:常勤32名
- 受益面積:9,599ha(水田9,599ha)

### 運動の取り組み体制と継続性・発展性

#### 役員

21創造運動に対する**理事長の熱い思いが役員全員に浸透**しており、今では教育機関、各種団体の学習会及び施設見学会の受け入れなど、それぞれの地区の**役員が積極的に運動を推進**している。

#### 職員

事務局のアイデアにより、活動の思い出とともに運動の普及啓発を図るために記念品(リサイクル筆記用具、帽子等)を作成し、参加者に配布するなど、**職員全員で工夫を凝らした運動を展開**している。また、運動を重ねる毎に児童等に対する職員個々の人前力も備わってきており、さらにその経験を生かし、多面的機能支払交付金の共同活動などの他事業にも積極的に取り組んでいる。

#### 総代

活動の実施について、総代の協力が必要な場合、地区役員から協力要請し、活動を支援してもらっている。**総代の方々も快く引き受けて**くれており、**各地域における支援体制が整っている**。

#### 組合員

施設研修等を通じて、**児童の家族である組合員との関わりが増え**、運動に対する**理解が深まってきている**。また、多面的機能支払の活動組織(保全会)との共同作業では、農業指導者としての協力も得られるなど、**地域全体での取り組みが芽生えている**。

### 運動を担う後継者、人材育成の取り組み

なるべく**多くの役職員が参加するよう**、今までの経験を生かし、特定の役職員だけに負担が掛からないように担当ローテーションを組むなどのアイデアを出し合い、運動に取り組んでいる。特に**新規採用職員には、県内先進地の研修などへの積極的な参加を呼びかけ**、創造運動の取り組みに対する考えを醸成させている。

また、**地域資源を守り継承していく人材の育成を基本理念のひとつ**としていることから、児童を対象とした活動を積極的に展開しており、施設研修等に参加した次代を担う児童らが将来、各地域のリーダーとして、若しくは水土里ネットの役職員として運動を推進する人材になることを期待している。

### 財源状況

・自主事業を活用している。 ・補助事業を活用している。

### 継続していくための財政的な工夫

土地改良区負担が多くなるような大きなイベントは開催せず、**管内小学校や保全会等の団体との連携を密にし、協力を得ながら**、財政的な負担は極力かけないように実施している。また、生き物調査で使用する網や水質検査キット等は、「ふるさと秋田応援事業(県補助事業)」で購入するなど、補助事業を最大限に活用している。

# 21創造運動の活動

## No.1 水土里ネット施設学習会

- ・活動部門：組織活性化、地域コミュニティー
- ・開催時期：平成12年度～ ・開催回数：3回／年
- ・実施形態：主催
- ・連携団体：団体名 大仙市立東大曲小学校、JICA、まひる農地水保全会他20団体
- ・活動経費：50千円(自主財源)



(用水管理センターでの学習会の様子)



(玉川頭首工を見学している様子)

### 活動内容

平成12年度から実施している本活動は、「自分の住んでいる水路に流れている水はどこから流れて来ているのだろう？」をテーマに用水管理センターでの学習会及び頭首工等の施設見学会を実施している。センターでは、当改良区の24時間の水管理方法を説明し水管理の大変さを認識してもらっている。施設見学では、玉川頭首工に流れてきているコバルトブルーの水を見ながら土地改良施設の役割を学んでもらっている。

### 取り組みの工夫

学校及び保全会等と綿密な打合せを行い、日程及び行程の計画を立て、児童向け及び一般向けの資料、概要図等を作成し配布している。資料に関しては、マンネリ化防止を図る為、その都度作成し、新鮮味が出るよう心がけている。その他、啓発普及(タオル、ポケットティッシュ)を配り、水土里ネットのPRもしている。

### 取り組みの成果

各団体と連携することにより、毎年の恒例行事として定着してきている。また、児童から祖父母、保護者(組合員・非農家)へと情報が伝達され、水土里ネットに対する理解が広がり、賦課金徴収率向上にもつながって来た。また運動への参加者が多くなって来た。

### 参加状況(延べ数)

年度	参加者数						参画団体数 行政 土連等	参加者 数計
	水土里ネット			一般		スタッフ数 (内数)		
	役員	職員	組合員	小中高生	その他			
26	1	3	150	87	281	4	0	526
27	1	3	100	50	153	4	0	311
28	1	3	130	39	161	4	0	338

## No.2 水土里ネット森林学習会

- ・活動部門：地域コミュニティー
- ・開催時期：平成20年度～
- ・開催回数：1回／年
- ・実施形態：協力
- ・連携団体：団体名 美郷町、秋田県仙北地域振興局

### 活動内容

本運動は、主催である美郷町に協力し、実施している学習会である。目的としては、**地域を流れる水はどこから流れ、作り出されるのかを認識**してもらう為、「森林のはたらき」をテーマに水の恩恵を少しでも理解してもらおうと訴えている。

### 取り組みの工夫

美郷町と綿密な打合せを行い、日程及び行程の計画を立て、児童から大人まで分かるようなプレゼンテーションに努めている。また、飽きを生じさせないよう、クイズ(ブナ林の保水力はどのくらいあるのか?)などを出題し、参加者を楽しませている。

### 取り組みの成果

地域の水源地を覚えてもらう機会となり、森林の多面的機能も学ぶことで森と水との重要な関わりについての理解が浸透しつつあると感じる。また、小学校からの「もう一度学習会を行ってほしい」などの要望もあり、出前授業へと発展もしている。



(学習会の様子)



(植樹会場の様子)

### 参加状況(延べ数)

年度	参加者数						参画団体数 行政 土連等	参加者 数計
	水土里ネット			一般		スタッフ数 (内数)		
	役員	職員	組合員	小中高生	その他			
26	3	3	0	150	52	6	2	216
27	3	3	0	149	50	6	2	213
28	3	3	0	153	47	6	2	214

### マスコミ等への掲載について

- ・秋田魁新聞(県内最大)
- ・秋田民報(仙北地域地元情報)
- ・話題新聞(美郷町地元情報)

## No.3 水土里ネット水生生物調査

- ・活動部門: 地域コミュニティー
- ・開催時期: 平成25年度～ ・開催回数: 1回/年
- ・実施形態: 主催
- ・連携団体: 団体名 大仙市立藤木小学校、  
秋田県仙北地域振興局農林部、
- ・活動経費: 100千円
- ・補助金: 100千円(事業名: ふるさと秋田応援事業)



(生物の捕獲体験をしている様子)



(捕獲した生物を調べている様子)

### 活動内容

本運動は、**地域の水源地からの清流に生息する生物を捕獲し、水質階級及び水質検査を実施している。**調査を通じて、児童らと自然との絆を醸成すると共に、自分たちが住んでいる恵まれた環境と、その大切さを学んでもらっている。

### 取り組みの工夫

事前に、**開催日時、安全対策等の綿密な打合せを行い、必要物品は水土里ネットで準備し、スムーズに実施出来るようにしている。**また、啓発普及グッズ(図鑑、観察水槽、エコノート・鉛筆)などの記念品を配布している。

### 取り組みの成果

調査を通じて、水質階級Ⅰ～Ⅲまでの生物の生息を確認している。中でも、階級Ⅰが多く発見されていることから、調査地点における**水質は「きれいな水」という結果が出た事は大きな成果である。**

### 参加状況(延べ数)

年度	参加者数						参画団体数 行政 土連等	参加者 数計
	水土里ネット			一般		スタッフ数 (内数)		
	役員	職員	組合員	小中高生	その他			
26	0	3	0	29	3	3	1	39
27	0	3	0	29	3	3	1	39
28	0	3	0	26	3	3	1	36

### マスコミ等への掲載について

- ・秋田県ホームページ

## No.4 水土里のみちウォーキングin抱返り溪谷

- ・活動部門: 地域コミュニティー
- ・開催時期: 平成24年度～
- ・開催回数: 1回/年
- ・実施形態: 共催
- ・連携団体: 団体名 管内水土里ネット、同職員会、  
水土里ネット秋田、秋田県



(玉川頭首工管理橋を渡っている様子)



(回顧の滝を見学している様子)

### 活動内容

平成24年度から実施している本活動は、**普段なにげなく見ている自然の中で、健康増進を図ると共に、周辺に点在する農業水利施設を見学し、その役割や大切さを各土地改良区担当職員から説明をいただきながら理解を深めてもらうことを目的としている。**

### 取り組みの工夫

本活動の取り組みの工夫としては、**毎年同じコースであるが、参加者から「次回も同じコースを歩きたい」などと問い合わせが多くあり、7キロ及び9キロコースを設け、当水土里ネットが管理する玉川頭首工の管理橋を渡り、絶景を堪能しながら県立自然公園内にある抱返り溪谷随一の名勝地である「回顧の滝」を目指してもらっている。**

そして、ゴール後には、完歩賞の他、記念品として「あきたこまち」をプレゼントし参加者に喜んでもらっている。

### 取り組みの成果

普段は立ち入ることが出来ない**農業水利施設を見学してもらい、土地改良施設の多面的機能と水土里ネットの役割をPR出来る機会となっている。**

また、本ウォーキングの内容が評価され、「水土里のみちウォーキングin抱返り溪谷」として「**新日本歩く道紀行100選**」に選定されている。

### 参加状況(延べ数)

年度	参加者数						参画団体数 行政 土連等	参加者 数計
	水土里ネット			一般		スタッフ数 (内数)		
	役員	職員	組合員	小中高生	その他			
26	0	33	0	15	65	33	2	148
27	0	35	0	7	32	35	2	111
28	0	33	0	17	57	33	2	142

### マスコミ等への掲載について

- ・秋田魁新聞(県内最大) ・秋田県 ・土地連 ・各水土里ネットホームページ

# 多面的機能支払、中山間地域等直接支払への関わり

・実施地区数:29カ所 ・実施面積:6,808ha

## 活動組織の構成

構成員は、自治会(町内会・部落会)、婦人会、老人クラブ、PTA、子供会、小学校、消防団、水土里ネット、水利組合、地区管理組合で構成されている。

## 活動内容

全地区が、地域の農村環境を守るべく、**土地改良施設の保全管理の計画**を立て、継続的に実施している。

## 水土里ネットとの関わり

実施地区数のうち**9組織**が地区管理組合と事務・会計等の業務委託契約を結んでいる。水土里ネットとしては、土地改良施設の保全活動に関する**技術的内容について指導、助言**を行い、スムーズに活動が実施されるように支援している。

## 21創造運動への波及効果

地域内での共同作業を実施しているが、土地改良施設研修や水路の水質及び生き物調査も創造運動と合わせて行うことで、**仙北平野全体の自然を学ぶ機会**となり更には、土地改良区の役割の理解を深めてもらいたいと考えている。

## 運動全体の成果と今後の展望

昔は、自然と触れあう事が当たり前のようなことだったと思うが、現代は少し失われつつあると思う。そこで、水土里ネットが先頭に立ち、土地改良施設見学会や森林学習会を実施し、地域自然の素晴らしさを訴え続けていることにより、児童から大人まで、土地改良区への理解が深まってきていると感じる。参加者の組合員及び地域住民からは、「**施設・水管理はこんなに大変なのか**」「**賦課金は納期内に支払います**」「**生活用水の水源を良く理解した**」などの声も聞こえ、賦課金の納入率向上による安定した土地改良区運営、円滑な事業推進に繋がっているほか、**地域住民(非農家)の方々には、水土里ネットの役割について理解が浸透しつつあると感じる。**

上記のとおり、徐々にではあるが運動の成果が現れてきており、今後とも継続していくことが何よりも重要であると考えている。そのためには、**小学校及び保全会組織等と連携**を更に強化し、地域全体で取り組んでいく体制を一層充実していきたい。また、参加者からの意見・要望についても可能な限り取り入れ、内容的にも参加者に満足してもらえるものにしていきたい。

「幅広く、継続した運動」にするために、**水土里ネットとしても、役職員、総代、組合員が一体**となって取り組んでいきたいと考えている。

## 平成29年度 21創造運動県知事賞

### 水土里ネット由利本荘市



- 水土里ネット名:水土里ネット由利本荘市      ○ 組合員数:2,845名
- 役職員数:役員20名、職員:常勤11名      ○ 受益面積:3,498ha

### 水土里ネット由利本荘市について

水土里ネット由利本荘市は、秋田県沿岸南部、由利本荘市に位置し、受益農地は日本海沿岸部から日本百名山の一つ、烏海山の麓まで広がっている。

本土地改良区は農業水利施設の適切な維持管理及び農業生産基盤の整備による安定的な地域営農の推進、組織運営の効率化による組合員の負担軽減を図るためには合併が不可欠との考えから、長年に渡る意見交換会や勉強会、検討会、研究会、合併推進協議会を経て、平成27年4月に由利本荘市内の5つの土地改良区(本荘東由利、由利本荘市滝沢堰、烏海町上川内堰、大内、西目)が合併し新設土地改良区として誕生した。

新設土地改良区となって以降も、関係機関や組合員、地域住民と連携を図りながら旧土地改良区毎に取り組んできた各種農業農村整備事業を継続し積極的に事業展開を図っている。

### 平根地区について

平根地区県営農地集積加速化整備事業(平成25年～平成30年、事業費9億9千万円)を行い、内容として、標準1haへ区画拡大(一部畑地化)、用排水路の整備、地下水位を下げる暗渠排水の整備を実施した。大区画整備はほぼ完了し、平成28年度から暗渠排水工事が進められている。集落の64haで進められている大区画化ほ場整備は、平成26年に設立された農事組合法人平根ファームが一手に引き受けた。

農家の高齢化や担い手不足、労働力の減少など地域農業が抱える課題を解消すべく、農地中間管理事業を活用して一つの法人に農地を集積するとともに、りんどうや小菊といった花卉等の高収益作物への転換に集落一丸となって取り組んでいる。このように平根地区はほ場整備事業の実施を契機に安定的な地域農業経営を目指すモデル地区にもなっている。

また、農事組合法人「平根ファーム」の取り組みは農業農村整備事業を契機に優れた営農を展開している優良事例として日本農業新聞にて平成29年11月7日(火)に掲載され、日本全国に広く紹介されたほか、平成29年11月15日に東京都で行われた「農業農村整備の集い」で事例報告がなされた。





### 農業体験学習(米づくり体験)

水土里ネット由利本荘市では、西目環境保全活動の会と連携し、農業・農村に対する理解醸成と、重要な**地域資源である農地・水を守り継承していく人材を育成**するために平成22年度から21世紀土地改良区創造運動として、農業体験学習(米作り体験学習)を継続して実施している。

地元小学校の5年生を対象に、4月には播種、5月は田植え、6月は稲の生育観察、そして9月には稲刈りと、稲作の一連の工程について実体験を通じた学習活動をしている。実施にあたっては、小学校はもとより、JA、老人クラブ、町内会、保護者等の方々に御協力を頂いている。また、**学習田は、本水土里ネットの組合員の好意により、その所有する水田を活用させてもらっている。**



作業は、基本的には**昔ながらの手作業**であるが、田植えの一部は田植機を使用し、参加小学生も**田植機の運転を体験**するなど、最新の農業技術の体験も取り入れている。これらの作業には、本水土里ネットの役職員のほか、地元幼稚園児、参加小学生の保護者、一般市民等、多くの方々が参加してくれている。

**収穫した米は、消費拡大のために学校給食に使用**しているほか、東京ふるさと会に試食用として活用してもらっている。

さらに関連体験として、農業用水の水質調査、河川の魚類生育調査、農業用水を活用した小水力発電所の見学等も併せて実施し、農業用水等の汚濁防止や自然エネルギーの活用等についての学習も行っている。

これらの体験学習を通して、**将来を担う小学生達**は、食の重要性や農業用水等が果たしている役割を認識するとともに、自然・環境などを大切にする心を培ってくれていると思う。また、**保護者、一般市民**の方々には、土地改良施設の多面的機能やそれを維持管理している土地改良区についての理解を深めてもらっていると考えている。



## 水土里キッズのわくわく探訪inよこて



### わくわく探訪について

9月16日(土)、横手市にて「水土里キッズのわくわく探訪inよこて」が秋田県南旭川水系土地改良区のご協力のもと、開催されました。

この「わくわく探訪」は、小学生に土地改良の役割や、秋田の自然や食について関心を高めてもらうきっかけづくりとして行っています。

今回は横手市と秋田市の児童、保護者、スタッフ合わせて50名にご参加頂きました。



### 秋田県南旭川水系土地改良区にて開講式

秋田県南旭川水系土地改良区に水土里キッズが集まり、開講式スタートです。

開講式では秋田県南旭川水系土地改良区の藤井理事長、横手市農林部の佐藤部長よりご挨拶頂き、記念撮影を経て探訪へ出発しました。



スタート



### 明永ため池に到着

明永ため池に貯められる水量は1,431,000m<sup>3</sup>。これは東京ドーム約1杯半分の容積となります。そして、生態系維持の役割も担っている明永ため池。「魚が跳ねるところを見た!」という子どもたちの声も。説明で聞いたことや明永ため池の案内板の内容を熱心にメモを取る子ども達の姿がとても印象的でした。



### 新一の堰頭首工を見学

続いて新一の堰頭首工にやってきました!川の流れをせき止め農業用の水を用水路に引き入れる頭首工の役割について学びました。また、「魚道」という取水ゲートが降りていても魚が自由に川を泳ぐ道があることに子ども達はびっくり。最後に普段は登る機会のない頭首工の上にみんなで登って記念撮影。ここから流れてくる水が普段食べている美味しいお米を育むことを理解できました。





### 秋田県指定天然記念物「筏(いかだ)の大杉」に会いに行きました！

筏の大杉は横手市山内の「筏隊山(ぼったいさん)神社」にご神木として祭られています。神社の宮司の高橋さんより筏の大杉の歴史について説明して頂きました。樹齢1000年以上の大杉の大きさに参加者全員圧倒されました。これからも大杉の神様には、秋田を見守って欲しいですね。



### 待ちに待ったお昼ご飯！山内名物「芋の子汁」に舌鼓

お昼の時間となり、同じく山内の「やまばと山荘」にて昼食とゲーム大会を行いました。この日は山内名物の「芋の子汁」とおにぎりをみんなで食べました。とてもお腹が空いていたので大きな芋の子を子ども達はぺろりと食べておりました。

そして昼食後は楽しいゲーム大会。空き缶を斜めに立たせるゲームや縄抜けゲームを行いました。簡単そうに見えて意外と難しく大人も子どもも夢中になって遊び、楽しいお昼休みを過ごしました。



### あいののダムを見学

午後からはやまばと山荘のすぐ近くにあるあいののダムを見学しました。このダムは昭和36年に東北農政局が完成させたアースダムであり、現在は秋田県南旭川水系土地改良区が管理しています。大きなダムの周りをみんなで歩き、その役割について学びました。



### ぶどう狩り体験！みんなで秋の味覚を楽しみました♪

わくわく探訪の最後は「まるさんぶどう園」でぶどう狩り体験です。横手市の名産品であるぶどうが果樹園にたくさん実り、秋らしい風景が広がっていました。自分の背丈より高い位置にある甘いぶどうを大人に手伝ってもらいながら、自分の手でもぎ取って食べました。もぎたてのぶどうは新鮮で「どれも甘くておいしい！」との声を聞くことができました。



### 無事に探訪を終えて閉講式

全ての探訪を無事に終えて秋田県南旭川水系土地改良区へ戻って来ました。水土里ネット秋田の佐藤次長より閉講の挨拶を頂き、無事に今年度のわくわく探訪は終了しました。

子ども達からは「楽しかった！」との声が聴け、今回横手市で開催出来たことをスタッフ一同大変嬉しく思っております。



ゴール

# 羽後町 秋田県土地改良事業団体連合会 雄勝支部

## 2017語り部交流会inあきた 雄勝の水物語を次世代に継げる～学び、育てる、未来づくり～



1月23日(火)羽後町文化交流施設「美里音」にて「2017語り部交流会inあきた」が開催されました。

開会に当たり、主催者を代表して秋田県土地改良事業団体連合会雄勝支部の大坂支部長が「湯沢、雄勝地域は雄物川の最上流部にあたり、湯沢ジオパークとして知られる火山活動で形成された自然や湧き出る清水もあります。しかしながら、こうした水の恵みを得ようと私たちの先人が汗を流し、時には涙を流しながら困難に立ち向かい、そして私たちの今の暮らしが切り開かれてきたという歴史があります。本日は、雄勝の水ものがたりを次世代に繋げ、学び、育てる、未来づくりをテーマに現代の語り部たちの話を訪ね、様々な地域活動に活かしていくことで、今、課題に直面している農村の未来について皆さんと一緒に考えてみたいと思います。」と挨拶をされました。



### 基調講演 「美しき水土里の郷 おがち」



ふるさと水と土指導員／あきた森づくり活動サポートセンター

所長 菅原 徳蔵 氏

雄勝の歴史を偉人の菅江真澄をベースに紐解き、当時の東北の冬に思いを馳せた。菅江真澄は1754年に愛知県に生まれ、1783年2月末に当時30歳で北へ向かって旅をする。1784年10月から1785年の5月までの約半年間秋田に滞在し、雄勝で初めての冬を体験する。秋田に滞在中に書いた「秋田のかりね」「小野のふるさと」、また、その30年後再び訪れた際に

書いた「高松日記」、「駒形日記」から当時の秋田の風土を学んだ。

2020年には東京オリンピックを控えていることもあり、外国人観光客に羽後町を体験してもらうための「羽後町留学」を紹介し、これまでにない新たな動きへの期待が高まると語った。



### 紙芝居 「よそうえもんぜき物語」



おはなしの会「ひまわり」

佐藤 スミ子代表ほか

この物語の主人公である麻生与惣右衛門が生まれ育った川西地区は年間を通して水が不足しており、村人たちが春から秋にかけて必死に働いても稲は実をつけず、子ども達はいつもお腹を空かせているという状況であった。このことと与惣右衛門は物心つく頃より心を痛め、皆瀬川から水を引き、この水不足を解消することに尽力した。

工事を進めていく内に「蛇ノ崎」という

大変固い崖が現れ、村人は次々に諦めていく。その中で与惣右衛門だけが何年も何年も、その岩盤を叩き続けた。その熱意に動かされ離れていった村人も戻って来た頃、51年もの歳月をかけて1701年に堰は完成した。その堰は300年以上経った今でも感謝と尊敬を込めて「与惣右工門堰」と呼ばれ語り継がれている。



### 実践報告 「学校と土地改良区が紡ぐ水の学び」



水土里ネット稲川 施設管理課長

日野 聡 氏



湯沢市立駒形小学校 6年生の皆さん

水土里ネット稲川では、地域活動プランナーとして駒形小学校の児童と農作業体験や土地改良施設の出前授業、ゴミ捨て防止標語コンクールの実施など精力的に子ども達の学習に関わっている。春の田植え、秋の稲刈りでは昔と現代の稲作の違いを実際に体験することで学び、伝統文化の伝承では「縄ない体験」や「雪中田植え」を行っている。

駒形小学校6年生の皆さんの報告では、農業体験の際の泥の感触や、体験学習の

楽しさ、そして地域の方々との繋がりの深さが伝わる報告であった。また、今回14回目となるゴミ捨て防止標語コンクールの優秀作品は看板となり、学校付近の水路等に立てられる。水土里ネット稲川では実際にゴミの処分費が減少傾向となっており、効果を実感しているとのことであった。



## 実践報告 「ジオツーリズムがつなげる自然と水の恵み」



ゆざわジオパークガイドの会  
藤木 忠良氏

ゆざわジオパークでは、「いにしへの火山の恵み あつき雪 いかして築く歴史と暮らし」というキャッチコピーの下、五感を使うことを心掛けたジオツガイドを通して、湯沢の歴史や文化、そして豊かな水を地域の人々や子ども達に伝える活動を行っている。今回は五ヶ村堰、新処堰についての歴史や役割を紹介して頂いた。

また、湯沢名物の「稲庭うどん」は、沖積

扇状地の畑作で作付された良質な小麦が算出したことと、豊かな伏流水を利用することが出来たために生まれたとのことであった。湯沢独自の地形がこうした特産品生産を育んだということも語った。



## 実践報告 「家族で伝える水の物語」



水土里ネットウご  
阿部 奈津美氏

水土里ネットウごが主催している「食料・環境・ふるさとを考える女性の会」は普段土地改良区の活動に実際触れることの少ない組合員家庭の女性に土地改良区の役割を理解してもらうために設立された会となっている。実際に参加した阿部氏は「毎日何気なく通っている景色の中に水土里ネットの施設があるということ

や、その役割が自分たちの生活に欠かせないものであるということがわかり、家族にこの会で学んだことを教えることが出来るようになったので大変良かった。」と語った。



## 語りフォーラム 「雄勝の水物語を次世代に継げる」



コーディネーター  
まちづくりファシリテーター  
平元 美沙緒氏



パネラー：  
日野氏／藤木氏／阿部氏

オブザーバー：  
秋田県農林水産部農地整備課  
能見 智人課長

語りフォーラムでは、今回の語り部の講師である日野課長、藤木氏、阿部氏、そしてオブザーバーとして秋田県農林水産部農地整備課の能見課長が意見を出し合った。

「次世代に継げたいこと」を挙げていく中では、藤木氏は「湧水を大切にしていってほしいと考えているが使われていない湧水が多いのが現状。ジオガイドの中で湧水に触れる企画を考えていきたい。」と語り、日野課長は「今までの活動は今回のテーマに非常にマッチしていたように感じる。今後も地域プランナーとしてこの活動を継続させたい。」と意気込みを示した。

最後に能見課長は「秋田県には自慢で

きるものが沢山存在している。それらを是非自身を持って発信して行って頂きたい。その際には「伝える」という意識だけではなく「伝わる」ということを念頭に活動して頂きたい。」と語った。



閉会の挨拶では雄勝地域振興局小松農林部長が3つの格言でこの会を締めくくった。

一つ目は「温故知新」、先人の偉業に学び、子ども達の学習発表を通してこれからも地域の歴史を継承していくということへ非常に感動したということ。二つ目は「ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず」、先人達が当時切り開いた水と現代の我々の目の前を流れる水は違えども、自分たちも絶えずその意思を継ぎ、未来へ発展させねばならないという使命感を感じたということ。結びの言葉は「冬来たりなば春遠からじ」として「今は厳しい冬の中にあっても春には再び農作業がスタートする。その際にはこの語り部交流会のことを思い出して欲しい。きっと違った気持ちで仕事が出来ると思う。」と、この語り部交流会を締めくくった。

末広小学校「田んぼアート」及び水利施設について出前授業

今年も末広小学校で行っている古代米を使った「田んぼアート」のお手伝いをしました。田植え前日には、子ども達がデザインしたアートに杭打ちをして田植えの準備をし、当日は全校児童25名、児童の家族、地域農家の方々とアートを完成させました。7月20日に土地連のドローンで上空からアートを撮影して頂き、今年の田植えも子ども達の記念になったようです。田植え後は順調にアートが色づいていく状況を記録し、8月中旬には見頃を迎え、10月上旬に稲刈を行いました。

全校児童25人と少ない学校ですが、一つのことを協力して作業ができる子供達で感心しました。今後も、これから地域を担う子供達に向け農業農村の役割について理解を深めてもらえるような活動を継続していきたいです。



内容	3年目の古代米田んぼアート	
期間	5月30日～10月6日	
場所	末広小学校、隣接学校田	
活動普及対象	地元住民	
アピールポイント	今年で3年目になる、末広小学校「田んぼアート」制作のお手伝いをしました。子ども達が考えたアートを元に、前日から杭打ちの準備をし、当日は、地元農家から育てて貰った「紫、黄、緑、赤」などの色とりどりの古代米を使い、地域の方々を借りて1年生から6年生まで全校で、絵や字を描き田んぼアートを完成させました。	
自己評価	7月には、田んぼアートを囲む子ども達を『ドローン』で撮影して頂きました。	
活動達成 85%	①役職員や組合員に運動への理解が浸透している	(17%) / 20%
	②基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している	(15%) / 20%
	③身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている	(19%) / 20%
	④水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる	(14%) / 20%
	⑤この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価	(20%) / 20%
今後の課題	組織の活性化・地域農業の振興・地域コミュニティへの貢献・地域資源の保全強化 地域の限られた人の参加となっている。今後幅広く活動していけるよう取り組みたい。	

立花 大館市土地改良区

児童による農業体験学習

農事組合法人立花ファーム、立花農地保全保全隊の協力のもと、今年で14年目となり毎年恒例となっている農業体験学習が、川口小学校3年の児童、先生及び関係者32名の参加のもと、春のネギ植え、秋には立花ファームで栽培管理されたネギの収穫作業を体験し、収穫の喜びを味わっていました。作業終了後の児童による質問コーナーではネギの種類や育て方、病気への対処など活発な質問が出され、農業への関心が伺えました。収穫したネギは児童がうちに持って帰れるということで、袋詰めしたネギを重たそうに持っている姿が印象的でした。指導に当たった関係者からは来年も新3年生による体験学習が楽しみとの声が聞かれました。



内容	川口小学生(3年)によるネギ植え・収穫体験	
期間	6月20日・9月19日	
場所	大館市立花字立花地内	
活動普及対象	その他(小学3年生)	
アピールポイント	体験学習を通じて農業の楽しさや人々との関わりを感じることができました。	
活動達成 81%	①役職員や組合員に運動への理解が浸透している	(15%) / 20%
	②基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している	(18%) / 20%
	③身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている	(18%) / 20%
	④水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる	(12%) / 20%
	⑤この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価	(18%) / 20%
今後の課題	組織の活性化・地域農業の振興・地域コミュニティへの貢献・地域資源の保全強化 事前に事業計画を地域の方々にも広くお知らせし、多くの方々に参加、協力して頂けるようにしていきたい。	

## 水土里の実践活動

今年度は、地元幼稚園の皆さんに参加して頂いた分水工周辺への花の植栽活動、秋田県立大学の皆さんに農業水利施設の紹介をする視察研修、幹線排水路を実際に使用している地元住民の皆さんとの環境整備活動、地元小学校への出前授業の4つの活動を実施しました。花の植栽は春に種や苗を植えることにより農業水利施設の様子を植物の成長とともに見てもらえるようにした点や、新たに地元小学校への土地改良区や農業水利施設についての出前授業を行ったことにより、昨年度からまた一歩進んだ活動が出来たのではないかと考えています。



内 容	農業水利施設周辺への花の植栽活動/農業水利施設の視察研修/幹線排水路の環境整備活動/小学校児童への農業水利施設や多面的機能についての出前授業	
期 間	6月23日、7月13日、10月16日、12月7日	
場 所	大野分水工、落合幹線排水路、浅内小学校 等	
活動普及対象	地元住民、その他(大学生)	
アピールポイント	地元の大人だけでなく、幼稚園児・小学生・大学生と幅広い世代に参加してもらうことにより、若いうちから農業や土地改良区の役割について興味を持ってもらうきっかけになったのではないかと思います。	
自己評価	①役職員や組合員に運動への理解が浸透している (15%) / 20%	②基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している (18%) / 20%
活動達成 84%	③身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている (17%) / 20%	④水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる (20%) / 20%
	⑤この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価 (14%) / 20%	組織の活性化・地域農業の振興・地域コミュニティへの貢献・地域資源の保全強化
	今後の課題	活動を継続するとともに、更に地元の方が参加しやすく、関心を持ってくれるような展開が必要。

## 鵜川 水土里ネットみたね

### 豊穡の里ウォーキング兼施設見学会

66名の参加者が集まりました。早朝は雨が降り、風が強かったものの、受付時刻が近づくにつれ晴天に変わり、快晴の中ウォーキングをスタートしました。年齢や、体調に合わせて選べるよう、中距離と短距離の2コースを用意し、無理のないペースで田んぼ・水路・農道を観察しながらウォーキングして頂きました。排水機場の役割をご理解いただき、良い機会でした。さらにこの排水機場の機能を知っていただく為にアンケートを実施しました。これを来年度の広告の方向性や、開催時の改善点に役立てる予定です。



内 容	ウォーキングと施設見学	
期 間	10月21日	
場 所	第九排水機場周辺	
活動普及対象	地元住民	
アピールポイント	排水機場の見学を目的に、田んぼ・水路・農道をウォーキングしました。	
自己評価	①役職員や組合員に運動への理解が浸透している (18%) / 20%	②基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している (15%) / 20%
活動達成 78%	③身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている (15%) / 20%	④水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる (15%) / 20%
	⑤この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価 (15%) / 20%	組織の活性化・地域農業の振興・地域コミュニティへの貢献・地域資源の保全強化
	今後の課題	さらに施設の存在、役割を理解していただくため、ウォーキングコースや、施設説明の工夫が必要。アンケートの回答率をさらに上げるため、回収のタイミングを考える。

## 水生生物調査及び土地改良施設見学会

生き物の採取については積極的で、土水路のため生き物の多さに驚いていました。また、ポンプの稼働により用水路への水の放流を見学し、作物を作る上で水の大切さと水管理を維持している人々の努力を感じとった貴重な施設見学会になりました。



内 容	浜口小学校4年生児童16名の環境教育とタイアップして、水生生物調査を実施しました。また、土地改良施設(揚水機場)見学会も実施しました。	
期 間	6月22日	
場 所	三種町浜田地内の用水路、揚水機場	
活動普及対象	地元住民	
アピールポイント	浜口地域内の水田水路に生息する「生き物(水生生物)と環境」をテーマに、生き物の採取と観察を行い、環境と生き物について関心を高めてもらう。 土地改良施設については実際にポンプを運転し水の流れや仕組み、管理する人々について学習してもらう。	
自己評価	①役職員や組合員に運動への理解が浸透している (10%) / 20%	
	②基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している (18%) / 20%	
	③身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている (15%) / 20%	
	④水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる (20%) / 20%	
	⑤この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価 (15%) / 20%	
	組織の活性化・地域農業の振興・地域コミュニティーへの貢献・地域資源の保全強化	
今後の課題	地域的一般の方々が参加できるようなイベントを考えて実施してみたい。	

活動達成

78%

## 琴丘 水土里ネット琴丘

### 農業施設見学会

活動を実施してから12年目になるが、活動内容は同じでも毎年児童が入れ替わるので新たな気持ちで取り組むことができている。今後も長くこの活動を続けていきたい。



内 容	琴丘小5年生30人を対象に毎年実施している。ため池・揚水機場・排水機場等を見学し、実際に操作体験を通して農業用排水施設と土地改良区の役割についての理解を深めてもらう。	
期 間	6月26日	
場 所	山本郡三種町鹿渡地内	
活動普及対象	その他(地元小学生)	
アピールポイント	施設見学会を実施することにより、地域における農業用排水施設や土地改良区についての理解を図っていききたい。	
自己評価	①役職員や組合員に運動への理解が浸透している (14%) / 20%	
	②基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している (17%) / 20%	
	③身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている (18%) / 20%	
	④水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる (18%) / 20%	
	⑤この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価 (14%) / 20%	
	組織の活性化・地域農業の振興・地域コミュニティーへの貢献・地域資源の保全強化	
今後の課題	年々参加児童が減少しているのが心配である。	

活動達成

81%



## 小学生農業体験学習

綴子農村公園隣の農業体験田において、綴子小学校5年生が田植え、稲刈りを体験し、米作りの一連の流れを学習。その体験をもとに、地域住民交流会において「農業体験発表」を行い、地域の皆さんに学習の成果を披露しました。農業体験では「こびり(農作業の合間に食べる軽食)」、交流会では収穫した米をきりたんぽにして試食するなど、地元婦人会の協力で地場食材を使った料理を楽しみながら学習に取り組んでいます。



内 容	綴子小学校5年生による「田植え」「稲刈り」「地域住民交流会」	
期 間	5月26日(田植え)・10月2日(稲刈り)・10月28日(交流会)	
場 所	綴子農村公園農業体験田他	
活動普及対象	組合員、地元住民	
アピールポイント	農業体験と食育	
自己評価	①役職員や組合員に運動への理解が浸透している	(15%)／20%
	②基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している	(15%)／20%
	③身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている	(15%)／20%
	④水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらい内容も含まれる	(10%)／20%
	⑤この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価	(15%)／20%
	組織の活性化・(地域農業の振興)・地域コミュニティへの貢献・地域資源の保全強化	
活動達成	70%	
今後の課題	非農家を中心に活動への参加者を拡大させること。	

## 井川 井川町土地改良区

## 学習田農業体験活動

今年も小学校学習田において、農業委員や農家の方々の指導により学習田農業体験活動「田植え・稲刈り」が行われました。

田植えでは慣れない泥の中で苦勞しながらも、笑顔を見せ一株ずつ丁寧に植えていました。稲の生育を見守りながら楽しみにしていた稲刈りでは、刈り取った稲をコンバインで脱穀したり、昔ながらの「はさがけ」を体験しました。

この活動からお米作りの大変さや収穫の喜びを体験するとともに、水や土にふれることで自然とふれあう楽しさを学んだと思います。



内 容	井川小学校5年生による「田植え・稲刈り」体験	
期 間	5月23日(田植え)、10月2日(稲刈り)	
場 所	井川小学校学習田	
活動普及対象	その他(小学5年生)	
アピールポイント	農作業の大変さを体験するとともに、自然とふれあう楽しさ、収穫による喜びをかみしめる活動になった。	
自己評価	①役職員や組合員に運動への理解が浸透している	(15%)／20%
	②基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している	(15%)／20%
	③身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている	(15%)／20%
	④水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらい内容も含まれる	(10%)／20%
	⑤この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価	(10%)／20%
	組織の活性化・(地域農業の振興)・地域コミュニティへの貢献・地域資源の保全強化	
活動達成	65%	
今後の課題	特になし	

学習田農業体験活動

飯田川小学校5年生による農作業体験に、老人クラブ・JAあきた湖東と一緒に参加しました。稲刈り時には、子供たちが一人ずつバケツで栽培した稲を、昔の農機具等を使いながら精米まで行い、おにぎりにして食べました。

収穫感謝祭では、各学年での農作業体験等を発表し、感謝状をいただきました。昼食には、婦人会と子供たちで作った「だまこ鍋」を全校生徒と一緒にご馳走になりました。子供たちが、農作業の楽しさや収穫の喜びを感じることで、農業の大切さが伝わったと思います。



内容	飯田川小学校による農作業体験、収穫感謝祭	
期間	9月27日(稲刈り)、11月22日(収穫感謝祭)	
場所	飯田川小学校学習田、体育館・食堂	
活動普及対象	地元住民、その他(小学生)	
アピールポイント	子供たちと地域のふれあい、収穫の喜びと農業の大切さ	
自己評価	①役職員や組合員に運動への理解が浸透している	(5%) / 20%
	②基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している	(10%) / 20%
	③身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている	(15%) / 20%
	④水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる	(5%) / 20%
	⑤この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価	(15%) / 20%
活動達成	組織の活性化・地域農業の振興・地域コミュニティへの貢献・地域資源の保全強化	
今後の課題	さらなる地域住民の参加・協力	

塩口 水土里ネット天王

～生活に密着した綺麗な水路～

昔から「せせらぎ水路」とはほど遠い「赤水っこ」と言われてきた水路で、高い鉄分土壌のため染み出した成分が酸性化して水が赤く濁っている。昔は生活水としても使われていたが白い衣服を洗濯すれば赤く染るけれども気にしない時代だった。そのため浄化水道がいち早く設備されたので、近年は必要性が薄れゴミの放置、ポイ捨てが増えてきていたが集落が一丸となってコミュニケーションを取りつつクリーンアップを行う事で昔のエピソードを思いだしながら美化を推進する。平成17年度より12年間活動してきたので定着してきた。



内容	年一回の集落総出のクリーンアップ	
期間	6月4日	
場所	潟上市天王塩口に隣接する承水路	
活動普及対象	地元住民	
アピールポイント	集落に隣接する水路の小さい頃から親しんだ「赤水」水路	
自己評価	①役職員や組合員に運動への理解が浸透している	(16%) / 20%
	②基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している	(14%) / 20%
	③身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている	(12%) / 20%
	④水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる	(12%) / 20%
	⑤この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価	(18%) / 20%
活動達成	組織の活性化・地域農業の振興・地域コミュニティへの貢献・地域資源の保全強化	
今後の課題	12年継続しているので若干参加数が減ってきているので新しい活動の企画	

## 西目 水土里ネット由利本荘市

三浦昭夫

### 農業体験学習(米づくり体験学習)

生涯で一度の体験となる子供も多数いると思われるので、地域住民の力を借りながら学習してもらっており大変実のある活動と思う。

又、収穫した米は消費拡大と学校給食に使用し喜ばれている。



内 容	小学校5年生が主体となって播種、田植え、稲の生育観察、稲刈り、自然乾燥の各工程の実体験を通して学習活動をし、毎年行われる種苗交換会に活動成果を出展し賞を得ている。関連した学習として魚類の調査、親水公園の清掃も行っている。	
期 間	4月17日～9月26日	
場 所	西目地域一円	
活動普及対象	地元住民、その他(J A 秋田しんせい西目、由利本荘市役所西目総合支所、稲作研究会、A S T 農場、西目小学校、西目幼稚園)	
アピールポイント	体験学習により主食である米の大切さ、農業用水の節水の仕方、河川の汚濁防止等環境保全の大切さを学習の柱としている。	
自己評価	①役職員や組合員に運動への理解が浸透している	(15%) / 20%
	②基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している	(20%) / 20%
	③身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている	(20%) / 20%
	④水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる	(20%) / 20%
	⑤この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価	(15%) / 20%
	組織の活性化・地域農業の振興・地域コミュニティーへの貢献・ <u>地域資源の保全強化</u>	
今後の課題	年々関心が深まっており、継続して行きたい。天候に左右されることと小学校の授業時間の調整が難しい面もあり、適期作業ができないこともある。	

活動達成

90%

## 本荘子吉 水土里ネット子吉

天野貫太郎

### ふるさと環境教室

子吉小学校5年生を対象に授業の一環として平成22年度から活動しております。毎年同じルートで施設を廻っていますが、今年はその途中にある風力発電所を見学しました。積極的に質問や意見を述べ、興味津々と農業用施設を見学する児童達を見て、少しでも農業や土地改良区に興味を持ってもらえたらと思います。



内 容	子吉の水源・ふるさとの自然環境を学習	
期 間	5月30日	
場 所	水道用ため池・農業用ため池・発電所等	
活動普及対象	その他(子吉小学校生徒)	
アピールポイント	ため池が地域の農業、生活を支える重要な施設であることを子供達に知ってもらう。	
自己評価	①役職員や組合員に運動への理解が浸透している	(20%) / 20%
	②基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している	(10%) / 20%
	③身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている	(10%) / 20%
	④水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる	(20%) / 20%
	⑤この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価	(20%) / 20%
	組織の活性化・地域農業の振興・地域コミュニティーへの貢献・ <u>地域資源の保全強化</u>	
今後の課題	特になし	

活動達成

80%

きらきら発見！施設見学会

今年も西明寺小学校4年生の児童24人が参加して施設見学会を行いました。児童たちは、初めて頭首工や管理橋を見て驚いていました。

また、熱心に説明を聞き、多くの質問をしてくれました。この見学会を行ってからの数年、川のゴミが少なくなってきたように感じます。例年、市の上下水道課等の協力を得て地域の水の循環を知ります。各施設には管理する人がいることや汚れた水をきれいにする大変さ、水の大切さを児童に感じてもらいたいと思います。



内容	宮田頭首工、小山寺頭首工、仙北市浄水場、西明寺クリーンセンター(下水処理場)の見学	
期間	10月25日	
場所	宮田頭首工、小山寺頭首工、西明寺高区浄水場、西明寺クリーンセンター	
活動普及対象	地元住民、その他(西明寺小4年生)	
アピールポイント	地域の人々に水土里ネットを理解してもらうために、まず子どもたちに頭首工などの施設を見学してもらいました。また、市の広報に載せてもらい仙北市全体に活動を知ってもらいます。	
自己評価	①役職員や組合員に運動への理解が浸透している	(19%) / 20%
	②基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している	(18%) / 20%
	③身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている	(19%) / 20%
	④水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる	(20%) / 20%
	⑤この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価	(15%) / 20%
	組織の活性化・地域農業の振興・地域コミュニティーへの貢献・地域資源の保全強化	
今後の課題	この活動をどのように広がりを持たせるか	

活動達成  
91%

仙北平野 水土里ネット仙北平野

社会科フィールドワーク見学

学習会前、子供たちにとって田んぼや水路、そこに流れる水というのは気にも留めない田園風景の一部でしかありませんでした。しかし、大画面や沢山の操作盤がある基地のような用水管理センターを見学し、田んぼの水は人の手によって流していることを知り、たった1秒でお風呂何十杯分という取水量に驚き、また豪雨や洪水の危険についても学んでもらいました。今回の学習によって、見慣れた景色にこれだけの人や物が関わり、改良区の役割をはじめ、水の大切さ、それが毎日食べるお米につながっているという食の大切さも知ってもらえたのではないかと思います。



内容	地域用水の水源を学び、水土里ネットの役割をPRする	
期間	7月4日	
場所	秋田県仙北平野土地改良区用水管理センター	
活動普及対象	地元住民	
アピールポイント	仙北平野の用水管理システムを見学しながら学習会を実施	
自己評価	①役職員や組合員に運動への理解が浸透している	(18%) / 20%
	②基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している	(18%) / 20%
	③身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている	(18%) / 20%
	④水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる	(19%) / 20%
	⑤この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価	(19%) / 20%
	組織の活性化・地域農業の振興・地域コミュニティーへの貢献・地域資源の保全強化	
今後の課題	学習会を通じて、学校や保護者・祖父母(組合員)に対し、改良区の更なる理解浸透を図る。	

活動達成  
92%

## 七滝 水土里ネット仙北平野

久米健太

### 水生生物の自然観察会

調査地点上流の砂防ダムには、ブラックバスが生息しており、下流の生態系への影響が懸念されています。そこで、子供たちから協力を頂き、毎年調査を実施しています。子供たちが、一生懸命捕獲作業を行い、水質階級Ⅰ～Ⅱ（きれいな水）に該当する生物を多数発見出来た事は大きな成果だと思います。また、PH測定も行い、中性であることも分かりました。今回の活動内容が上級生から下級生へ伝わり、更には家族へと情報発信されれば多くの人に理解浸透になるのではないかと思います。



内容	子供たちの力を借り、水質階級Ⅰ～Ⅳの水生生物調査及び水質調査を実施。	
期間	7月10日	
場所	丸子川支流湯田沢川上流部	
活動普及対象	地元住民	
アピールポイント	地域の豊かな自然環境との絆を深めてもらう活動になった。	
自己評価	①役職員や組合員に運動への理解が浸透している	(18%) / 20%
	②基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している	(19%) / 20%
	③身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている	(18%) / 20%
	④水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる	(19%) / 20%
	⑤この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価	(19%) / 20%
	組織の活性化・地域農業の振興・地域コミュニティーへの貢献・地域資源の保全強化	
今後の課題	現状の自然環境に満足せずに、活動を継続し、環境変化を把握していく必要がある。	

活動達成

93%

## 南旭川 水土里ネット南旭川

泉勇輔

### 花の植栽活動

昨年度に引き続き、栄小学校の全校児童の皆さんと活動を行いました。昨年度とは違い、プランターへの植栽だけでなく児童一人一人が自分の管理する鉢にも植栽をし、自分が毎日水やりをすることによって、花の成長を見て感じて頂けたと思っております。

今年度は、昨年度と若干異なったアイデアで活動を行うことができました。来年度も色々なアイデアを出し、地域の皆さんや次世代に繋がるようこの運動を行ってきたいと思っております。



内容	横手市立栄小学校の全校生徒とベコニア、サルビア、マリーゴールドの三種類の花を一人一鉢、プランターへの植栽を実施	
期間	5月29日	
場所	横手市立栄小学校	
活動普及対象	地元住民	
アピールポイント	プランターへの植栽の他に児童一人一人が、これから自分が管理する鉢にも植栽を行いました。自分が植栽した花への毎日の水やりを通して、生物の大切さを児童の皆さんにも学んでいただけたと思っております。	
自己評価	①役職員や組合員に運動への理解が浸透している	(20%) / 20%
	②基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している	(20%) / 20%
	③身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている	(20%) / 20%
	④水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる	(20%) / 20%
	⑤この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価	(20%) / 20%
	組織の活性化・地域農業の振興・地域コミュニティーへの貢献・地域資源の保全強化	
今後の課題	・新たな地域での、新たな活動を計画・実行をしていきたい。 ・啓発、普及に力を入れ、地域住民に理解を広げていきたい。	

活動達成

100%

# 平鹿 秋田県雄物川筋土地改良区

佐藤 達也

## 皆瀬1号幹線用水路植栽活動

充実したい汗をかき、行き交う住民に和んでもらえればと炎天下の中、作業しました。直接的に改良区役を示すより、当事業(間接的)のような活動を通した方が地域に溶け込みやすいのかとも思います。

また、現場と事務・老若男女区別されずに、一緒に活動できるので、合併された地区の人達や国県関係の担当者との距離を縮める機会と考えて、多数参加を呼びかけています。

改良区本業外での地域住民等に活動をアピールできる絶好の機会であると捉えている一方で課題もあり、今後の活動に一抹の不安も感じています。



内容	ボックス水路の上に植栽する。	
期間	6月28日	
場所	横手市十字町佐賀会字下沖田地内	
活動普及対象	地元住民	
アピールポイント	行き交う住民に一時のオアシスを提供できればと。	
自己評価	① 役職員や組合員に運動への理解が浸透している	(5%) / 20%
	② 基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している	(10%) / 20%
	③ 身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている	(15%) / 20%
	④ 水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらった内容も含まれる	(10%) / 20%
	⑤ この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価	(15%) / 20%
活動達成	55%	
今後の課題	財源である管理体制事業が、仮に限定的なものになると、この植栽活動が継続できるものなのか不安がある。	

# 山田 水土里ネット山田五ヶ村

倉田 一治

## 地域住民一体となった維持管理コンテスト

各活動組織の代表が各地区の実施状況を巡回し、項目別に採点しながら実施内容の説明を行いました。各活動組織において、それぞれ工夫した取り組みが見られ、活動組織間の連帯意識の高揚や情報交換の場としてなくてはならないものとなっております。また、農業用水利施設の重要性や維持管理活動のPRにも努めながら、多面的機能支払交付金制度を通じて大きな効果が生まれつつある、地域住民との交流活動(農家・非農家を巻き込んだ集落環境、生活水の確保等)、更新期を迎える土地改良施設の更なる長寿命化対策等の啓蒙にも努めております。

この維持管理コンテストは本年度で節目の31回を数え、水土里ネット山田五ヶ村の21世紀土地改良区創造運動の中核を担う活動となっており、今後とも創意工夫に努めながら、水土里ネットの大切な役割を地域住民に伝える取り組みを行っていきたいと思っています。



内容	維持管理実施状況の巡回コンテストを実施しました	
期間	9月11日	
場所	水土里ネット山田五ヶ村管内 ~ ニュー千寿苑	
活動普及対象	組合員、地元住民	
アピールポイント	水土里ネット山田五ヶ村管内の多面的機能支払交付金活動組織(広域協定の20の活動組織)が実施している農地維持活動、資源向上活動の取り組みについて、毎年度実施している維持管理コンテストと共催で実施しています。	
自己評価	① 役職員や組合員に運動への理解が浸透している	(20%) / 20%
	② 基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している	(15%) / 20%
	③ 身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている	(15%) / 20%
	④ 水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらった内容も含まれる	(15%) / 20%
	⑤ この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価	(15%) / 20%
活動達成	80%	
今後の課題	多面的機能支払交付金を活用しながら水土里ネットの維持管理事業と一体的な取り組みを実施しているが、農村の過疎化、高齢化、農地集積等による農家数の著しい減少に伴い、組織活動の参加者数が年々減少してきている現状にあるため、水土里ネットの体制強化策の検討を含め、地域住民への更なる周知が必要であると考えている。	

ふるさと秋田応援事業

この活動は毎年同じような内容で行っているが、受ける子供たちは毎年新たになる訳で、継続することが大切であり、その輪が広がってきていると思う。この活動は地域の資源保全会の皆さんや保護者の方々などたくさんの方々の協力で、成り立っている。これからも土地改良区が地域のコーディネーターとしての役割を担っていければと思っている。



内容	出前授業や施設見学会、農業体験を通じ、子供たちに農業の魅力を伝え、また子供たちを介して地域住民が活動に参画することにより、農業農村・農業水利施設が地域の宝として、地域資源から地域資産へと認識が変わり、保全・管理活動につなげていく。	
期間	5月18日～平成30年2月28日	
場所	稲川土地改良区管内	
活動普及対象	組合員、地元住民、一般県民、その他(学校)	
アピールポイント	前年に新聞やテレビなどで取り上げられたり、ホームページで発信したことにより、写真愛好家がイベントに訪れるなど、情報発信が出来たと思う。	
自己評価	①役職員や組合員に運動への理解が浸透している	(19%)／20%
	②基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している	(19%)／20%
	③身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている	(19%)／20%
	④水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる	(20%)／20%
	⑤この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価	(18%)／20%
活動達成	組織の活性化・地域農業の振興・地域コミュニティへの貢献・地域資源の保全強化	
95%	資源保全会や集落協定の方々に協力していただいているが、大半が高齢の男性であり、今後は若い方々や女性にも多く参加していただけるようにしたい。	
今後の課題		

第18回

主催:水土里ネット秋田 共催:秋田県

美しく豊かな農村づくり写真コンクール

ナイスアグリカルチャー賞



「田人ひとり」佐藤 昌子  
【撮影場所:由利本荘市烏海町】



「衣替え」佐々木 茂  
【撮影場所:横手市大森町未野】



「後継ぎ誕生」佐藤 義敏  
【撮影場所:仙北市角館町】



「体験農業」須藤 寿  
【撮影場所:由利本荘市岩城浦保】



「稲刈りバンザイ」柴田 ミツ  
【撮影場所:男鹿市北浦安全寺】



「後継者」五十嵐 清光  
【撮影場所:横手市増田町】

「ベストあきた賞」、「日本NN賞」、「秋田県農林水産部長賞」、「棚田オーナー賞」は次のページへ

第18回

主催:水土里ネット秋田 共催:秋田県

# 美しく豊かな農村づくり写真コンクール



ベストあきた賞



「豊作祈願」 渡邊 次夫  
【撮影場所:大仙市太田町】

日本NN賞



「大蔵の棚田」 阿部 紀秋  
【撮影場所:山形県東村山郡山辺町】

秋田県農林水産部長賞



「山里の秋」 九嶋 操  
【撮影場所:鹿角市八幡平小割沢】

## 棚田オーナー賞



「田植えの頃」 戸塚 喜八  
【撮影場所:山形県鮭川村】



「豊かな大地」 藤田 広志  
【撮影場所:北海道富良野市】



「晩秋の光芒」 藤田 由広  
【撮影場所:青森県二戸市】



「田畑へ温水」 木村 東仁  
【撮影場所:にかほ市長岡】



「湯立て古い(神事)」 松橋 加代子  
【撮影場所:北秋田市】



「苗ちょうだあ〜い」 九嶋 祐  
【撮影場所:北秋田市】



「小正月」 瀬川 正範  
【撮影場所:岩手県北上市】



「祈願」 渡部 巖  
【撮影場所:秋田市木曾根】



「田植えの一年生」 小形 勝也  
【撮影場所:秋田市金足】



「ナイスキャッチ」 田口 秀三  
【撮影場所:由利本荘市岩城滝俣地区】



「故郷」 石郷岡 富男  
【撮影場所:秋田市若見三内橋裏】



「とったどー!」 鈴木 友子  
【撮影場所:大湯村】



「豊作だ!」 吉田 慶嗣  
【撮影場所:雄勝郡羽後町田代薬師堂】



「収穫日和」 加藤 悦子  
【撮影場所:由利本荘市内】



「両手一杯の秋」 鈴屋 正晴  
【撮影場所:由利本荘市岩城滝俣地区】

「ナイスアグリカルチャー賞」は次のページへ



【発行所】 秋田県土地改良事業団連合会 〒010-0967 秋田市高陽幸町3番37号  
TEL.018-888-2750(代) FAX.018-888-2834  
http://www.akita-midori.net/

